

Team Entry Players

チームエントリー選手紹介

学年・氏名五十音順

① 学部・学科 ② 出身高校 ③ 自己記録(10月1日時点)



安藤 圭佑 KEISUKE ANDO

- ① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
- ② 豊川・愛知
- ③ 5,000m / 14'13"95
10,000m / 29'13"26

4年



稲塚 大祐 DAISUKE INAZUKA

- ① 経営学部 経営学科
- ② 高岡向陵・富山
- ③ 5,000m / 13'57"90
10,000m / 28'49"55

4年



櫻井 駿祐 SHUNSUKE SAKURAI

- ① 異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科
- ② 立教新座・埼玉
- ③ 5,000m / 14'17"00
10,000m / 29'47"96

4年



林 虎大朗 KOTARO HAYASHI

- ① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
- ② 大牟田・福岡
- ③ 5,000m / 13'49"74
10,000m / 28'49"09

4年



山口 史朗 SHIRO YAMAGUCHI

- ① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
- ② 四日市工業・三重
- ③ 5,000m / 14'08"07
10,000m / 28'52"18

4年



小倉 史也 FUMIYA OGURA

- ① 経営学部 経営学科
- ② 伊賀白鳳・三重
- ③ 5,000m / 14'09"27
10,000m / 30'11"88

3年



國安 広人 HIROTO KUNIYASU

- ① 経営学部 経営学科
- ② 須磨学園・兵庫
- ③ 5,000m / 13'59"60
10,000m / 28'53"80

3年



馬場 賢人 KENTO BABA

- ① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
- ② 大牟田・福岡
- ③ 5,000m / 13'57"65
10,000m / 28'40"67

3年



吉屋 佑晟 YUSEI YOSHIYA

- ① 経営学部 経営学科
- ② 広島国際学院・広島
- ③ 5,000m / 13'58"73
10,000m / 30'34"48

3年



木島 陸 RIKU KIJIMA

- ① 経営学部 経営学科
- ② 相洋・神奈川
- ③ 5,000m / 14'21"39
10,000m / 30'20"51

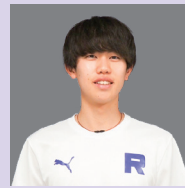
2年



高田 遥斗 HARUTO TAKADA

- ① スポーツウエルネス学部
スポーツウエルネス学科
- ② 仙台育英・宮城
- ③ 5,000m / 14'21"78
10,000m / 29'53"53

2年



原田 颯大 SOTA HARADA

- ① スポーツウエルネス学部
スポーツウエルネス学科
- ② 洛南・京都
- ③ 5,000m / 14'24"42
10,000m / 29'54"64

2年



鈴木 愛音 MANATO SUZUKI

- ① 経営学部 経営学科
- ② 城西大城西・東京
- ③ 5,000m / 14'07"63
10,000m / 29'49"15

1年



山下 翔吾 SHOGO YAMASHITA

- ① 観光学部 交流文化学科
- ② 國學院久我山・東京
- ③ 5,000m / 13'52"67
10,000m / 30'15"09

1年

立教大学



立教応援
パンフレット

立教大学陸上競技部
男子駅伝チームを
応援しよう!



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

[編集・発行]

「立教箱根駅伝2024」推進委員会事務局

<https://www.rikkyo.ac.jp/>

第101回 東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

2024年10月19日(土)

創立150周年記念事業

本学は、2018年11月に創立150周年に向けた記念事業として、2024年1月の第100回東京箱根間往復大学駅伝競走（以下、箱根駅伝）本選出場を目指す「立教箱根駅伝2024」事業を開始しました。本学体育会陸上競技部は、箱根駅伝が始まった1920年に創部。箱根駅伝での最高順位は、第33回大会（1957年）での総合3位という伝統校ですが、第44回大会（1968年）を最後に出場が途絶えていました。事業開始後、着実に力をつけ、第97回、第98回大会では、同部の部員が関東学生連合チーム^(※)のメンバーに選出され、第99回大会（2023年）には、55年ぶりに本選に出場しました。2年連続の本選出場となった第100回大会（2024年）では、総合14位と第99回大会から4ランクアップの躍進を遂げました。今後、箱根駅伝におけるシード権（10位以内）の獲得、そして上位進出を目標にさらなる高みを目指します。

History

立教大学陸上競技部と箱根駅伝

- 1920 ● 立教大学体育会陸上競技部 創部
 - 1934 ● 第15回箱根駅伝 初出場 総合11位
 - 1957 ● 第33回箱根駅伝 総合3位
 - 1968 ● 第44回箱根駅伝 総合11位
1968年までに通算27回出場したが、
第44回を最後に立教チームとしての出場が途絶えた
 - 2018 ● 学院創立150周年記念事業として
「立教箱根駅伝 2024」事業が始動
 - 2019 ● 第96回箱根駅伝予選会 総合23位
 - 2020 ●
3月 ● 陸上競技部専用寮「紫聖寮」が完成
10月 ● 第97回箱根駅伝予選会 総合28位
陸上競技部の中山凜斗さんが箱根駅伝
関東学生連合チーム(*)に選出
 - 2021 ●
1月 ● 第97回箱根駅伝 中山凜斗さん
第4区(平塚~小田原)を力走
2009年第85回大会の中村嘉孝さん以来
12年ぶりの本学選手の出場
10月 ● 第98回箱根駅伝予選会 総合16位
陸上競技部の斎藤俊輔さんが箱根駅伝
関東学生連合チーム(*)主将に選出
 - 2022 ●
1月 ● 第98回箱根駅伝 斎藤俊輔さん
第3区(戸塚~平塚)を力走
10月 ● 第99回箱根駅伝予選会 総合6位
55年ぶり28回目 本選出場決定
 - 2023 ●
1月 ● 第99回箱根駅伝 本選総合18位
10月 ● 第100回箱根駅伝予選会 総合6位
2年連続29回目 本選出場決定
 - 2024 ●
1月 ● 第100回箱根駅伝 本選総合14位

※箱根駅伝関東学生連合チームについて
箱根駅伝の出場権を得られなかった各校から1名、予選会の個人成績の上位順に選出されたメンバーで構成しています。



陸上競技部 男子駅伝監督

高林 祐介

YUSUKE TAKABAYASHI

平素より皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。
今年、監督就任1年目として初めての予選会に臨むにあたり、選手たちは「起紫改成」のスローガンのもと、厳しいトレーニングを重ね、万全の準備を整えてきました。立教学院創立150周年という特別な年に、私たち男子駅伝チームはさらなる飛躍を目指し挑戦を続けます。選手たちの熱い走り、皆様の力強いご声援を賜りますようお願い申し上げます。



陸上競技部 男子駅伝主将

安藤 圭佑

KEISUKE ANDO

平素より多大なるご支援ご声援、誠にありがとうございます。
私たちは箱根駅伝でのシード権獲得を目標に、日々の練習に取り組んできました。昨年度まで予選会を6位で通過し、本選で戦えず悔しい思いをしてきました。箱根本選で勝負をするためにも、この予選会を3位以内の高順位で通過し、箱根本選への弾みとなるよう、チーム一丸となって予選会を戦いたいと思います。応援のほどよろしく願いいたします。

立教大学 公式SNS・Webサイト

立教大学 公式LINE 立教駅伝応援

「立教箱根駅伝2024」事業の公式
LINEアカウントでは、監督や選手
の情報、陸上競技部男子駅伝
チームの競技成績や試合日程など
の情報を確認できます。 @r



@rikkvoekiden

「立教箱根駅伝2024」特設Webサイト

「立教箱根駅伝2024」事業の取組み内容を
紹介する動画、過去の箱根駅伝出場記
録や最新の競技成績、最近のトピック等を
確認できます。各業界の第一線で活躍す
るOB・OGの応援メッセージも必見です。



<https://www.rikkyo.ac.jp/hakone2024/>

陸上競技部男子駅伝チーム公式サイト

現在の男子駅伝チームの選手のことが分かるブログや競技成績、フォトギャラリー、過去に箱根駅伝に出場した先輩たちの実績等を紹介しています。



<https://rikkyoekiden.1net.jp/>

第101回 箱根駅伝予選会について

箱根駅伝予選会では、ハーフマラソン(21.0975km)を走り、本選出場権を争います。第101回大会での出場資格は、関東学生陸上競技連盟の登録者であり、箱根駅伝本選への出場枠は10枠となります。各校は14名までの選手をエントリーします。

当日は各校12名の選手が一斉に走り、各校上位10名の合計タイムにより、上位10校が本選への出場権を獲得します。

コース案内



※応援場所として、上記の18km地点を設定します。(それ以外の場所での応援も可能です)

※結果発表は「みんなの原っぱ」特設開場にて行われます。発表後、「みんなの原っぱ」で陸上競技部男子駅伝チームとご来場いただいた方で記念撮影を行う予定です。

注意事項

※選手が安心して競技に集中できるよう、応援マナーの遵守にご協力ください。

- 幟の使用は控えてください。 ● 脚立を使つての応援は禁止とします。 ● 車両を使用しての応援は一切禁止とします。
- 道路上での応援はせず、必ず歩道から応援して下さい。
- コースの反対車線から道路を横断しての応援や中央分離帯に上がつての応援は厳禁とします。
- コース上での応援、あるいはコースへ旗等をせり出した形での応援は一切禁止とします。
- 観客の皆様は、陸上自衛隊立川駐屯地内での観戦はできません。

※最新の情報は、関東学生陸上競技連盟のホームページよりご確認ください。